

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針 新旧対照表

改正後	改正前
第１・第２ （略） 第３ がん検診 １ 総則 （１） （略） （２） 実施体制 がん検診の実施体制は、次のとおりとする。 ①～⑥ （略） <u>⑦ 関係学会のマニュアル等を参照し、各都道府県において精密検査医療機関リストの作成に努めること。</u> <u>⑧ その他精度管理に関する事項が適切に実施されていること。</u> （３）～（６） （略） ２～４ （略） ５ 乳がん検診 （１） （略） （２） 結果の通知 検診の結果については、精密検査の必要性の有無及び<u>乳房エックス線検査における乳房構成を附し、受診者に速やかに通知する。乳房構成の判定に当たっては、日本乳癌検診学会によるマニュアル等を参考にすること。</u>	第１・第２ （略） 第３ がん検診 １ 総則 （１） （略） （２） 実施体制 がん検診の実施体制は、次のとおりとする。 ①～⑥ （略） （新設） ⑦ その他精度管理に関する事項が適切に実施されていること。 （３）～（６） （略） ２～４ （略） ５ 乳がん検診 （１） （略） （２） 結果の通知 検診の結果については、精密検査の必要性の有無を附し、受診者に速やかに通知する。

(3)～(6) (略) 6 大腸がん検診 (1) 検診項目及び各検診項目における留意点 大腸がん検診の検診項目は、問診及び便潜血検査とする。 ① (略) ② 便潜血検査 便潜血検査は、免疫便潜血検査<u>1</u>日法により行い、測定用キット、採便方法、検体の回収及び検体の測定については、次のとおりとする。 ア (略) イ 採便方法 採便用具（ろ紙、スティック等）を配布し、自己採便とする。 なお、採便用具の使用方法、採便量及び採便後の検体の保管方法は、検診の精度に大きな影響を与えることから、採便用具の配布に際しては、その旨を受診者に十分説明する。 また、採便用具の配布は、検体の回収日時を考慮して、適切な時期に行う。 ウ 検体の回収 <u>検体は、採取後、即日回収することを原則とする。</u> また、やむを得ず即日回収できない場合でも、回収ま	(3)～(6) (略) 6 大腸がん検診 (1) 検診項目及び各検診項目における留意点 大腸がん検診の検診項目は、問診及び便潜血検査とする。 ① (略) ② 便潜血検査 便潜血検査は、免疫便潜血検査<u>2</u>日法により行い、測定用キット、採便方法、検体の回収及び検体の測定については、次のとおりとする。 ア (略) イ 採便方法 採便用具（ろ紙、スティック等）を配布し、自己採便とする。 なお、採便用具の使用方法、採便量、<u>初回採便から2回目までの日数及び初回採便後の検体の保管方法等は</u>、検診の精度に大きな影響を与えることから、採便用具の配布に際しては、その旨を受診者に十分説明する。 また、採便用具の配布は、検体の回収日時を考慮して、適切な時期に行う。 ウ 検体の回収 <u>初回の検体は、受診者の自宅において冷蔵保存（冷蔵庫での保存が望ましい。）し、2回目の検体を採取した</u>
--	---

での時間を極力短縮し、検体の回収、保管及び輸送の各過程で温度管理に厳重な注意を払う。 なお、検診受診者から検診実施機関への検体郵送は、温度管理が困難であり、検査の精度が下がることから、原則として行わない。 エ (略) (2) ～ (6) (略) (7) その他 ①・② (略) (削除) 7・8 (略) 別紙 1 (略)	<u>後即日回収することを原則とする。</u> また、やむを得ず即日回収できない場合でも、回収までの時間を極力短縮し、検体の回収、保管及び輸送の各過程で温度管理に厳重な注意を払う。 なお、検診受診者から検診実施機関への検体郵送は、温度管理が困難であり、検査の精度が下がることから、原則として行わない。 エ (略) (2) ～ (6) (略) (7) その他 ①・② (略) ③ <u>精密検査の第一選択は、全大腸内視鏡検査とする。全大腸内視鏡検査を行うことが困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査（二重造影法）の併用による精密検査を実施する。</u> <u>ただし、その実施に当たっては、十分な精度管理の下で、注腸エックス線検査の専門家により実施する。</u> <u>便潜血検査のみによる精密検査は、大腸がんの見落としの増加につながることから、行わない。</u> 7・8 (略) 別紙 1 (略)
--	--

2 乳がん検診 (1) 乳がん検診の実施 ①・② (略) ③ 視診を実施する場合の留意点 視診に当たっては、乳房の<u>対称性</u>（大きさ及び形）、乳房皮膚の陥凹、膨隆、浮腫、発赤、乳頭陥凹及び乳頭びらんの有無について観察する。 ④ (略) (2) 略 3・4 (略)	2 乳がん検診 (1) 乳がん検診の実施 ①・② (略) ③ 視診を実施する場合の留意点 視診に当たっては、乳房の<u>対象性</u>（大きさ及び形）、乳房皮膚の陥凹、膨隆、浮腫、発赤、乳頭陥凹及び乳頭びらんの有無について観察する。 ④ (略) (2) 略 3・4 (略)
--	--